



# 徳川頼貞と武井守成のプレクトラム合奏団

## 林 淑 姫

2018年11月17日(土)11:00

南葵音楽文庫閲覧室(和歌山県立図書館内)

南葵音楽文庫

和歌山県立図書館内

和歌山市西高松1-7-38

tel.073-436-9500

### 武井守成(たけい もりしげ 1890-1949)

鳥取生れ。父守正(1842-1926。旧姫路藩士。政治家。実業家。貴族院議員(勅撰)、枢密顧問官。明治40年男爵授爵)の鳥取県知事時代に生まれ、1914(大正3)年東京外語イタリア語科を首席で卒業。在学中奨学金を得てイタリアに遊学。ギター、マンドリンに出会う。帰国後比留間賢八(ひるま けんぱち 1867-1936)に師事、1916(大正5)年、田中(澤)常彦(1890-1975 慶應義塾大学卒)の協力を得てマンドリン合奏団「シンフォニア・マンドリニ・オルケストラ」を組織、演奏活動とともに機関誌『マンドリンとギター』を創刊。翌年宮内省式部官に就任(21年より楽部長兼任)、公務の傍ら演奏、作曲活動を展開。22年、イギリスのマンドリン奏者、研究家で楽譜店を営むフィリップ・J・ボーン(Philip J. Bone, 1873-1964)より、蔵書を譲り受け、「武井文庫」を創設。愛好家の利用に供したが、翌年の関東大震災により焼失。震災後合奏団を「オルケストラ・シンフォニカ・タケキ OST」と改称、機関誌を『マンドリン・ギター研究』と改題して再出発をはかり、合奏および作曲コンクールを主宰。25年より再び楽譜の蒐集に努め「武井文庫」を再建した。戦時中「武井楽団」と称し、定期演奏会を続けたが、1943(昭和18)年第48回を以て中断。戦後1949(昭和24)年に復興第1回(第49回)を指揮。翌月死去。46年に宮内省式部官を拝命している。門下に作曲家菅原明朗(1897-1988)、作曲家・指揮者斎藤秀雄(1902-1974)がいる。「落葉の精」「夏の組曲」などマンドリン、ギターのための作品120曲を残した。著書に『マンドリン・ギター及其オーケストラ』(1924)がある。



武井守成  
(1890-1949)



師・比留間賢八  
(1867-1936)



萩原朔太郎  
(1886-1942)  
(前橋文学館蔵)



徳川頼貞が保存していた定期演奏会プログラム

第13回(1922.6.17&18 丸の内生命保険協会講堂)

瀬戸口藤吉指揮

曲目 カラーチェ「前奏曲第10番」、N.マッサ「月光と恋愛」、  
菅原明朗「ワルツ調にて」、武井守成「タレルガに捧げる曲」ほか  
\*キタローネ初公開 (読売日本交響楽団蔵)



菅原明朗(1897-1988)



斎藤秀雄(1902-1974)